

8月園内研修

令和6年8月24日(土)

【研修テーマ】 児童虐待防止研修

【講師】 南城市役所こども相談課 神谷亜希子・中村陽菜

【研修内容】

◎児童虐待の早期発見～保育所編～

◎保育所の役割～虐待防止について～

1. 事例紹介 2. 保育所での関りポイント(発見と対応)

◎子どもの権利擁護について 人権擁護のためのセルフチェックリスト

【感想】

・虐待についての学びは、日々の保育を振り返りながら反省する内容もあった。我が子の子育てを振り返っても、「やっちゃってたな」と反省点が多かった。

・保育士としての関りの中で、数十年前までは気にならなかったことが『不適切保育』としてあげられることもあり、時代にあった保育や子どもとの関りを今後も配慮していきたい。

・児童虐待について振り返ることができて良かった。事例紹介で発見のポイントと対応のポイントと分けて説明してくれたので分かりやすかった。

・虐待の話はとても大切だと思いましたが、不適切保育の部分が凄く気になりました。まだまだ決まってないことが多いんだなと知ることが出来ました。

・これ虐待??と感じたら、自分だけで考えるのではなく、すぐに相談しようと思いました。環境や自分のゆとりがと思うこともありますが、子どもの人権を一番に考えて言動、行動していきたいです。

・セルフチェックリストをやって、やってるなというものが多く改善しないといけないなと感じた。

・早期発見ができるのは保育園ということで、少しでも気になることや変化に気づいたら写真や記録に残していかないといけないなと思った。

・心に余裕を持って保育ができるように、時間がなくても一旦周りを見て(客観的に考え)深呼吸したり、自分なりに落ち着けられるようにしたいです。何を言っても不適切なのではという不安もありますが、周りの先生たちのいい所をたくさん吸収して自分の物にして「良

い」保育に近づけられたらと思います。

・セルフケアチェックでも「したことがある」項目にチェックがつくことが多く、時代の変化を感じた。今でも言葉遣いが気になることがあるので、丁寧な関わりと、言葉遣いを意識する。

・園児の為と思ってやってい事が不適切保育だったりしたので、不適切保育なのかそうではないのかのボーダーラインが難しいなと改めて思った。

・虐待にも色々な種類があり、様々な背景がありとてもデリケートな問題だと思う。少しでも減らしていきたいしゼロになればいいと思う。

・子供へのかかわり方で、自分に余裕がない時家庭でも園でも子どもをせかすような声掛けをよくしている。気を付けていけないといけないと感じた。

・個々への配慮だと思っていたことが「大人のエゴだったかもしれない」と自分の保育を振り返った。子供の視点で物事を考え、もっと子供の声を聞き一人ひとりを尊重する事を意識していこうと思う。

令和6年度 8月園内研修



©児童虐待防止研修（令和6年8月24日(土)13:00～15:00）講師：南城市役所子ども相談課
神谷亜希子・中村陽菜・児童虐待の早期発見～保育所編～・保育所の役割～虐待予防について～
1. 事例紹介 2. 保育所での関わりポイント（発見と対応）・子どもの権利擁護について・
人権擁護のためのセルフチェックリスト